



# 誰もが支え・支えられる地域づくりをサポートする 「赤い羽根福祉基金」

社会福祉法人 中央共同募金会

## 基金の趣旨

現在、さまざまな生活課題を抱え、支援を必要としている人々が増加しており、生活困窮者や認知症高齢者、障がい児・者への生活支援、児童虐待防止など喫緊の課題となっている。これに対し、公的制度やサービスの充実とともに住民による支え合いをはじめ、ボランティア・NPO団体等による多様な事業や、地域のさまざまな団体によるプラットフォームの形成と連携した活動が期待されている。

一方、近年、企業、団体や個人の社会貢献意識が高まっている。中央共同募金会では、共同募金運動70年を迎えるにあたり、これらの寄付意識を受けとめて束ね、広域的に、また継続的に支援をつなぐために「赤い羽根福祉基金」を創設する。

この基金は、公的制度やサービスでは対応できない分野において、社会課題の解決のための新たな活動や仕組みを構築し、誰もが支え、支えられる地域づくりをめざす。

## 助成対象事業

下記の部門より幅広く募集

- |              |          |
|--------------|----------|
| ① 子ども家庭支援部門  | ④ 災害関連部門 |
| ② 高齢者支援部門    | ⑤ 地域福祉部門 |
| ③ 障がい児・者支援部門 |          |

各部門につき下記の事業・活動に対して助成

- I 支援事業・活動への助成
- II 活動の基礎づくり、ネットワークづくりへの助成
- III 調査・研究事業への助成

制度対象外のニーズへの対応、新たな社会資源の創出、ニーズに即した分野を超えての対応、全国的・広域的な広がりが期待されるもの、複数の団体・関係機関との連携・協働する事業・活動を助成

## 対象期間

同一事業の実施期間は単年度から最大3か年  
(ただし平成28年度は10月1日～平成29年3月31日)

## 助成額

各事業・活動に対して年間上限額1,000万円

## 助成決定

平成28年8月募集スタート、外部有識者等で構成する「赤い羽根福祉基金審査委員会」において審査を実施し、助成を決定。

赤い羽根福祉基金は、社会課題の実態を明らかにし、それらの事業や活動に賛同・共感する企業、団体や個人の寄付によって運営する